

平成25年度
第2回岡山市保健福祉政策審議会における主要な意見

- 1 日時 平成26年1月29日(火) 14:00~15:05
- 2 場所 岡山市保健福祉会館4階 こころの健康相談室
- 3 出席者 委員8名
- 4 傍聴者 報道2者、傍聴者なし
- 5 議題

- ・「岡山市における認知症施策の指針(岡山市版オレンジプラン)(仮称)」案について
- ・「岡山市民生委員の定数に関する条例(仮称)」の制定について

6 主要な意見

＜「岡山市における認知症施策の指針(岡山市版オレンジプラン)(仮称)」案について＞

- ・認知症の方を在宅で見っていくうえで、特別な財政的な措置を行ってほしい。
- ・認知症の方、精神疾患の方、両方に言えるが、疾病時の急性期を過ぎた後の、入院からの在宅へ帰るまでの支援が必要。今は、急性期が過ぎた後の行き先に困っている。かかりつけ医や専門医などとの連携を進めてほしい。
- ・認知症サポーターの養成を、地域ごとに計画的に進めてほしい。
- ・予防のための施策をもっと記載してほしい。
- ・後見人の制度について、費用がかかることも説明してほしい。また、後見人は複数で行ってほしい。
- ・岡山市社会福祉協議会では、法人後見人の養成を始めた。連携をとりながら事業を進めたい。
- ・ケアマネージャーが鍵となる。地域と家族、包括支援センターと連携が必要。
- ・認知症サポートリーダーの養成についてPRをしっかり行ってほしい。
- ・地域包括支援センター(サブセンター)は地域の中にあってほしい。合併ばかりしないでほしい。

＜「岡山市民生委員の定数に関する条例(仮称)」の制定について＞

- ・人口が減少していく地区の民生委員が減ると困ることになる。各地域の特性や状況によって決定するようにしてほしい。
- ・岡山市は周辺部と中心部では、民生委員の担当区域の面積や世帯数などの状況が大きく違う。各地区の要望を聞きながらそれぞれの地区の状況に応じてきめ細かくやっていただきたい。